

日向砂防堰堤

稲荷川の最強キーパー



日向砂防堰堤

堰堤

リニューアル重ねパワーアップ

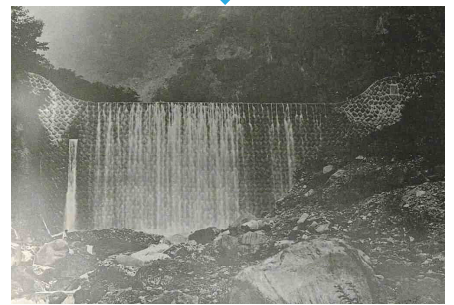
大谷川の合流点から5kmの地点にある日向砂防堰堤は、昭和3年(1928)の竣工以来、二度の嵩上げ工事を行っています。

最初は、完成から25年後の昭和28年(1953)。6mの嵩上げを行いました。二度目は昭和57年(1982)。昭和41年(1966)の災害では稲荷川下流に大きな被害はなかったものの、雨の降り方によっては土砂災害の恐れがありました。

工事の結果、建設時には13.6mの堰堤が、46mもの高さを誇るものとなりました。



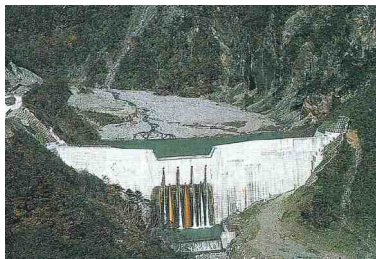
施工前(大正14年撮影)



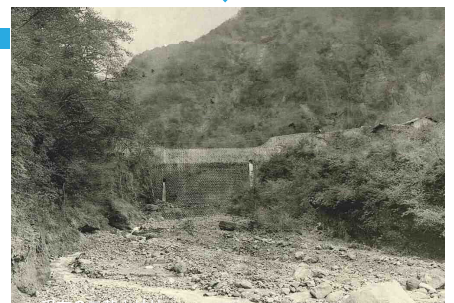
施工後(昭和4年撮影)



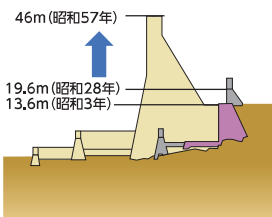
第2回目の嵩上げ工事中(昭和53年撮影)



第2回目の嵩上げ工事後(昭和57年撮影)



第1回目の嵩上げ工事後(昭和28年撮影)



さらにかわしい
情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭立って砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉